

## 馬券をクレジットカードで買えるシステムの導入に反対する決議

2010年4月10日

全国クレジット・サラ金問題対策協議会

JRAは、2010年3月8日、来年春の5重勝単勝式馬券の販売と同時に、クレジットカードで馬券を購入できる「JRAダイレクト」の運用を開始すると発表した。

報道によると、この導入により、JRAは馬券の売上減に歯止めをかけようとしているとのことである。

しかしながら、そもそもギャンブルは手持ちの余裕資金で楽しむべきものである。たとえ翌月1回払いのみで、利用金額の上限を設定しても、ギャンブルの射幸心が昂じれば必ずや払戻金で決済することを目論んで馬券を買う者も出るであろうし、興奮状態の中で、自己の支払能力を超えた額の馬券を購入する者も出るであろうから、カードでの馬券購入システムの導入は、クレジットの支払不能者を増加させる危険性が大きい。

JRAは、「銀行口座ではなくカード会社を使った立替払いの認識で、光熱費などでも行われているものである。」と説明しているようであるが、立替払いは、その時点で現金の持ち合わせがなくても馬券の購入ができるところに最大の問題があり、生活のために必要な出費である光熱費の支払をカードからの引落にすることと、ギャンブルの賭金を立替払いで購入することを同列に論ずるなど論外である。

またJRAは、この方式を、5レースの単勝を当てる5重勝単勝式の採用と同時に開始するとしているが、その考え方自体、射幸心に乘じて高額の馬券購入を期待していることが明白であり、「賭け事は自己責任」、「儲ければ良い」というかつてのサラ金と同じ発想に立つ、極めて無責任・危険な発想である。

したがって、クレジット・サラ金業者による多重債務問題に長年取り組んできた私達は断じてこれを認めることは出来ない。

よって、JRAダイレクトの導入に断固反対する。

以上